

令和6年度 全国学力・学習状況調査「課題のみられた問題」

1 小学校「国語」

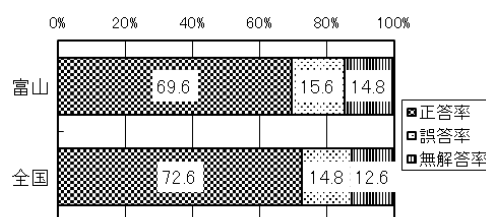
(1) 問題番号3三 <正答率が全国よりも低く、無解答率が高い問題>

学習指導要領における内容：5・6学年 C読むことエ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる。

- 正答率は69.6%で、全国平均より3.0ポイント低い。また、無解答率が14.8%（全国12.6%）で、全問題中最も高い。
- 誤答については、心に残ったところを書いているが理由を書いていない、物語から言葉や文を取り上げているが心に残ったところを書いていない児童が合わせて11.5%（全国11.5%）である。



正答例
オニグモじいさんが、ハエの女の子に、自分が食べているのは朝日のひかりだと話したところが心に残りました。その理由は、すなおな女の子をおどろかせず、安全に帰そうとするやさしさが表れていると思ったからです。（百字）

Grid for writing the answer.

- （条件）
- 心に残ったところと、心に残った理由を書くこと。
 - 【物語】から言葉や文を取り上げて書くこと。
 - 六十文字以上、百字以内にまとめて書くこと。

三 原さんは、鳥さんと話し合ったあと、【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめています。あなたなら、【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をどのようにまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

文章の内容については、調査問題をご覧ください。
（松居スーザン「オニグモじいさんの朝ごはん」による。）

3 原さんの学級では、物語を読み、心に残ったところについて説明することにしました。原さんは、「オニグモじいさんの朝ごはん」という題名の物語を選んで読んでいます。次は、原さんが読んだ【物語】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

学習指導上の留意点

- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるようにする

それぞれの心に残ったところとその理由を交流することにより、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるようにすることが大切である。

指導のポイント

- 児童自身が「人物像」や「物語の全体像」、「表現の効果」のどの観点で読んだのかを明確にしていくことができるよう、友達が着目したところと自分が着目したところを比べる場を設ける。
- 自分の考えを適切に表現することができるよう、「なぜかという」とや「～からです」など、思考そのものに関わる語句や、「～のところから」など、根拠を表す語句を例示する。

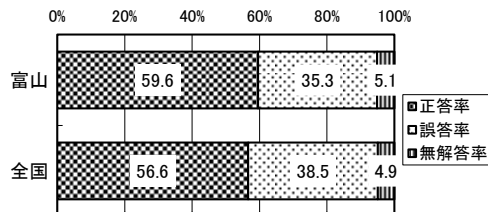
(2) 問題番号2二 <正答率が低い問題>

学習指導要領における内容：5・6学年 B書くことウ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：記述式

【出題の趣旨】 目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかをみる。

- ・正答率は 59.6%で、全国平均より 3.0 ポイント高いが、全問題中3番目に低い。
- ・誤答については、下級生に聞いたことから言葉や文を取り上げて書いているが、「たてわり遊び」のよさについて考えたことを書いていない児童が 30.0%（全国 33.0%）である。



正答例

「お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった」という一年生や、「みんなが楽しそうであれしかった」という四年生がいます。このように、「たてわり遊び」のよいところは、学年をこえた交流ができることだと思います。（百字）

【高山さんの文章】

みんな仲良し「たてわりはん」

わたしたちの学校には、1年生から6年生までのメンバーが、同じはんで活動する「たてわりはん」の取り組みがあります。「運動会」や「たてわり遊び」を通して、ちがう学年の人とも仲良くなります。

「運動会」は、「たてわりはん」ごとに赤、青、黄の色を決め、3色対こうで行います。上級生が下級生に伝えんての仕方を教えたり、下級生も楽しめるように、アキょうぎの作戦を考えたりします。「みんなであつな引きをして楽しい」という2年生や、「下級生といっしょに伝えんて熱い気持ちになる」という5年生がいます。このように、「運動会」のよいところは、みんなの心が一つになるところだと思います。

「たてわり遊び」は、毎月1回、休み時間に「たてわりはん」で遊ぶ活動です。みんなが楽しめるように、6年生が、遊びたいことを下級生に聞いたり、ルールをくふうしたりします。例えば、ドッジボールでは、上級生が遠くからボールを、なげるようにしています。

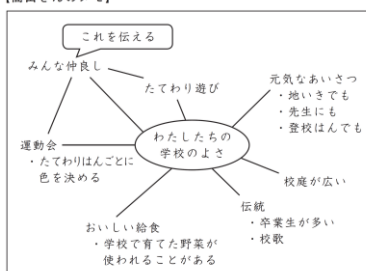
【高山さんの取材メモ】

「たてわり遊び」について

- 6年生がくふうしていること
 - 遊びたいことを下級生に聞く
 - ルールをくふうする
- ドッジボール 上級生は遠くからボールをなげる
- 下級生に聞いたこと
 - 1年生 お兄さんやお姉さんと遊べて楽しかった
 - 3年生 好きな遊びや新しい友達が増えた
 - 4年生 みんなが楽しそうであれしかった

二 高山さんは、次の「高山さんの文章」の考えた「たてわり遊び」のよさを書こうとしています。あなたも高山さんなら、内容をどのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましよう。

【高山さんのメモ】



【高山さんの考え】

「たてわり遊び」と「運動会」は、どちらも1年生から6年生までが同じ「たてわりはん」で活動していて、みんなが仲良しになる。このことが学校の一番のよさだと思うから、文章に書こう。



2

高山さんの学級では、学校のよさを伝える文章を書くことになりました。高山さんは、学校のよさを考えながらメモを書き、文章に書くことを決めました。次は、「高山さんのメモ」と「高山さんの考え」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましよう。

学習指導上の留意点

- 事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるようにする

事実を客観的に書くこととともに、その事実と感想や意見との関係を十分捉えて書くことが大切である。自分の考えたこと等が客観的な事実と裏付けられたものになっているかどうかを振り返り、自分の考えをより深めていくことにもつながる。

指導のポイント

- ・取り上げた事実が、自分の考えを裏付けるものになっているかどうかを振り返り、内容に注目して、文章全体に一貫性があるかを確認したり、文末表現に注目して、事実と考えを適切に区別しているか、事実と考えを混同して書いているかを確認したりする場面を設定する。
- ・伝えたいことを支える事実としてふさわしいものを取り上げられているかを確認したり、事実を裏付けとすることでどのような考えを伝えたいのかを確認したりすることができるよう、児童同士で書いた文章を読み合い確かめ合う場面を設定する。

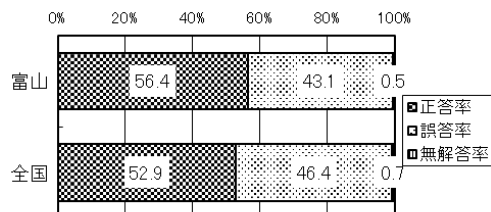
(3) 問題番号 1 二 (2) <正答率が低い問題>

学習指導要領における内容：5・6 学年 A 話すこと・聞くことウ

評価の観点：思考・判断・表現 問題形式：選択式

【出題の趣旨】 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる。

- ・正答率は 56.4% で、全国平均より 3.5 ポイント高いが、全問題中 2 番目に低い。
- ・誤答については、用意していた実物を示しながら話したことを捉えることができなかった児童や、相手が興味をもっていることに気付いたことを捉えることができなかった児童が、合わせて 40.0% (全国 43.1%) である。



(2)

和田さんは、村木さんの発言⑥を受けて、発言⑦のように話しました。和田さんの話し方のくふうとして最も適切なものを、次の 1 から 4 までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

1 相手が興味をもっていることに気づき、相手の言葉を引用して話した。

2 相手が興味をもっていることに気づき、用意していた実物を示しながら話した。

3 相手が興味をもっていないことに気づき、言葉の意味を説明しながら話した。

4 相手が興味をもっていないことに気づき、自分の体験を加えて話した。

正答 2

海風小学校の和田さんの学級では、深緑小学校と学校の取り組みをオンラインでしようかし合っていました。和田さんは、深緑小学校の村木さんとしようかし合おうとしています。次は、村木さんから事前に「和田さんに届いたメールの内容」です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

二 和田さんは、「和田さんのメモ」を生かして、村木さんとオンラインで交流しました。次の「オンライン交流の様子の一部」

① 海風小学校の和田さん

② 深緑小学校の村木さん

③ はじめまして。海風小学校の和田です。今日は、とても楽しみにしていました。

④ はじめまして。深緑小学校の村木さんです。今日は、とても楽しみにしていました。

⑤ メールありがとうございます。図書委員のことを知りたいということでしたので、まず、海風小学校の図書委員会の取り組みのしょうかいで、読書イベントが、月に1回、図書委員会で、クイズなどをして、私もそれに参加して、今まで読んでいたことがない分野の本を読みました。

⑥ せっかく教えてもらったのですが、だれが何をしているのかが分からなくなったので、もう一度教えてもらえませんか。

⑦ 説明がよくなかったですね。話し方を変えますね。図書委員会が、月に1回、クイズなどの読書イベントをしてくれます。私もクイズに参加しました。今まで読んでいたことがない分野の本を読むことができました。

⑧ よく分かりました。おもしろそうですね。

⑨ そうなんです。先月の読書イベントでは、図書委員がさまざまな分野から本を選び、本の内容からクイズを出題してくれました。これが、実際に出版されたクイズが書かれたカードです。私も参加することで、科学の本に興味をもつことができました。

～(交流が続く)～

学習指導上の留意点

- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるようにする

表現を工夫するためには、相手や目的を一層意識し、どのような資料を用意すればよいかを考えることが重要である。実際に話す場面では、聞き手のうなずきや表情等にも注意しながら、聞き手の状況に応じて自分の考えが伝わるように表現を工夫することが大切である。

指導のポイント

- ・音声言語だけでは聞き手が理解しにくかったり、誤解を招きそうだったりする場合等に資料を使いながら話すことや、聞き手の興味・関心や情報量等を予想し、どのような資料を用意すればよいかを考える場面を設定する。
- ・目的や意図に応じて資料の順番を変えたり、適切な時間や機会での資料の提示の仕方について検討したりする時間を設ける。
- ・映像ややりとりのモデル等を使い、聞き手のうなずきや表情等の反応にも目を向け、適切な時間や機会を判断し表現することのよさに気付くことができるようにする。